

芝生用

ピシウム病・赤焼病に!!

ランマン[®]P フロアブル

®石原産業株式会社の登録商標

シアゾファミド水和剤

有効成分：シアゾファミド……9.4%
普通物 A類相当

特長
1

ピシウム菌に優れた効果

病原菌の菌糸生育を低濃度で阻害し、
ピシウム菌に特異的に高い予防効果を示します。

特長
2

優れた残効性

残効性に優れ、
2週間程度の間隔での散布が可能です。

特長
3

次世代菌密度低減効果

孢子(遊走子のう)形成阻害効果により
次世代孢子形成を阻止し、
次世代病原菌密度を低減します。

特長
4

耐性菌に有効

既存剤とは異なる作用機作を有するので
フェニルアמיד系などの
薬剤耐性菌に対し有効です。

特長
5

安全性、混用性、耐雨性

ベントグラスに対する安全性や他剤との
混用性に優れています。散布後乾けば、
降雨があっても安定した効果が得られます。

既存剤とは異なる作用機作

有効成分のシアゾファミドは植物病原菌の細胞中微小器官のひとつであるミトコンドリア内膜上に存在する酵素複合体の一つ(複合体Ⅲ, Q_c)に結合し、その酵素活性を阻害する結果、膜内での電子伝達系(呼吸系、エネルギー生産系)を阻害し、病原菌を死滅させることが確認されています。

芝(ベントグラス)の適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	*総使用回数
芝 (ベントグラス)	ピシウム病 赤焼病	1000倍	0.5ℓ/m ²	発病初期	6回以内	散布	6回

* シアゾファミドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

【販売】

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社：東京都千代田区富士見2丁目10番30号

ランマンPフロアブルの使用時期

各種雪腐病
褐色雪腐病

赤焼病
ピシウム病

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

ランマンPフロアブルの使用適期

ピシウム菌による病害とは!!

- 降雨などによる過湿条件下で蔓延する。
- ピシウム菌感染後にほかの病害との複合感染も多くみられ、更に病徴が激しくなる。
- 種が分化し低温期から夏季高温期まで適応し病害が発生する。
- 高温性のピシウム菌は菌糸の伸長速度が速い。

ランマンPフロアブルの上手な使い方

発病前、又は発病初期に散布してください。

水	1000ℓ	0.5ℓ/m ²
ランマンP	1ℓ	0.5mℓ/m ²
面積	2000m ²	

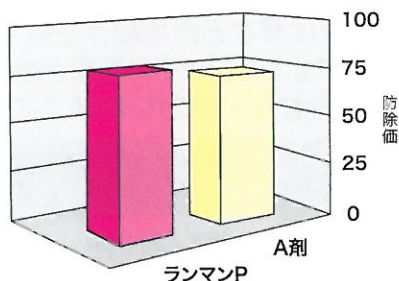


手軽に処理が出来ます!!

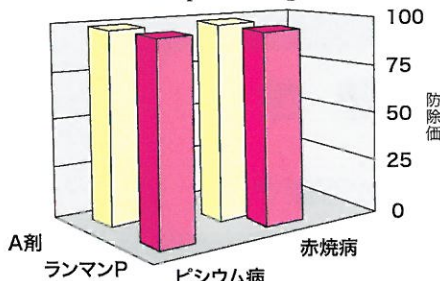
- ベントグラスに対する安全性が高い。
- 他剤との混用性が良い。
- 希釈時の粉立ちが無く、分散性が良い。
- 普通物・A類相当です。

公式委託試験成績

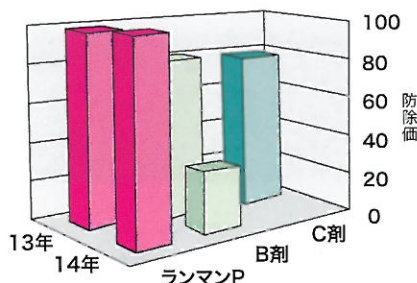
- 平成18年度 関西グリーン研究所 圃場試験
赤焼病 *P. aphanidermatum*



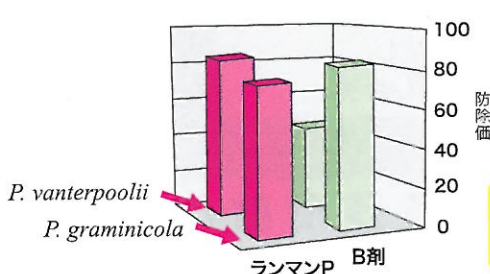
- 平成18年度 東日本グリーン研究所 圃場試験
赤焼病 *P. aphanidermatum*
ピシウム病 *P. vanterpoolii*, *P. graminicola*



- 平成13・14年度 大阪府立大学 ポット試験
ピシウム病 *P. graminicola*



- 平成13年度 香川大学 ポット試験
ピシウム病 *P. vanterpoolii*, *P. graminicola*



激症型ピシウムブライト

	パッチ面積率	
	処理前	処理 15 日後
ランマンP 1000 倍	95.0%	0%
A 剤 300 倍	95.0%	0%
無処理	92.5%	100%

6月26日 処理
7月10日 調査

赤 焼 病

	パッチ面積率	
	2 週間間隔で 2 回目処理 7 日後	
ランマンP 1000 倍	0%	
A 剤 300 倍	0%	
無処理	78.3%	

7月10日、7月24日 処理
7月31日 調査

■ ランマンP
対照薬剤 □ A 剤 ■ B 剤 ■ C 剤

⚠ 芝(ベントグラス)の効果薬害の注意

- 使用直前に容器をよく振る。(沈殿)
- 予防効果主体の剤なので、出来るだけ発病前又は発病初期に散布する。(効果)
- 使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等、関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- かぶれやすい人は取り扱いに十分注意。
 - 散布機具の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さない。
 - 空容器は環境に影響を与えないように安全に処理する。
- 保管:密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵所。



石原テレホン相談室 0120-1480-57

ホームページアドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>

【販売】

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本 社: 東京都千代田区富士見2丁目10番30号

2008.10.A